

飯塚市教育研究所だより

TEL 0948-22-5500(内線 1635) FAX 0948-29-5440

E-mail iikenkyu@city.iizuka.lg.jp

平成31年3月8日 文責 青木 宏親

飯塚市教育研究所研究発表会を行いました

2月21日(木)飯塚市教育研究所研究発表会を行いました。13時20分よりいづか論文表彰式、引き続き、平成30年度の研究員6名が1年間の研究のまとめを発表しました。筑豊教育事務所の指導主事の方より研究員の報告書に対し一人一人に丁寧な指導・助言をいただきました。

本年度は、本庁5Fの研修室で実施しました。広い会場でしたので、初の試みで前面にスクリーン、中程に電子黒板で、発表者のプレゼンがより分かるようにしました。参加者は、市外からの参加者4名を含む65名で盛会の内に終了しました。

いづか教育論文には多くの応募をいただきました。論文は、指導主事等が5観点で審査した点数により各賞を決定しました。

入賞者は右表に掲載しています。応募いただいた先生方ありがとうございました。来年度も子どものために素晴らしい実践をしていただき、それを論文としてまとめて市内の先生に発信してください。次年度も多くの応募をお待ちしています。

論文要旨等については研究所報にて紹介します。



平成30年度いづか教育論文 入賞者 一覧

(学校教育部門)

飯塚市立飯塚東小学校	教諭	森尾 武	佳作賞
飯塚市立飯塚小学校	教諭	石川 和佳	佳作賞
飯塚市立片島小学校	教諭	海老原 聖菜	佳作賞
飯塚市立片島小学校	教諭	小山 蓮	奨励賞
飯塚市立穎田小学校	教諭	児玉 正昌	優秀賞
飯塚市立穂波東小学校	教諭	本多 優	佳作賞
飯塚市立穂波東小学校	教諭	右田 昇一	佳作賞
飯塚市立若菜小学校	教諭	遠藤 彰人	佳作賞
飯塚市立穂波西中学校	教諭	山田 誠一	優秀賞

(学校経営・運営部門)

飯塚市立飯塚小学校	教頭	馬場 敬子	優秀賞
飯塚市立幸袋中学校	校長	古野 守和	優秀賞



福岡県とびうめ教育表彰式が行われました

1月9日(木)、福岡県庁講堂で、福岡県とびうめ教育表彰式が行われ、飯塚市から平成30年度福岡県公立学校教育マイスター表彰部門(人権教育の推進)で飯塚市立小中一貫校穂波東校小学部中川 展秀 教諭、また、ふくおか教育論文表彰部門(学校教育部門:社会科 佳作賞)では飯塚市立二瀬中学校 河野 睦 教諭が表彰を受けました。おめでとうございます。



飯塚市教育講演会

2月23日(土)独立行政法人大学入試センター審議役(併)試験・研究統括補佐官の 大杉 住子 先生を講師に「新学習指導要領の方向性と大学入試共通テストで問いたい力」という演題で、子どもたちがこれから身につけていかなければならない力とそれをつけさせるための教職員の意識変革について詳しく講演をしていただきました。

小中学校だけではなく、高校からの参加も多く、約200名の参加がありました。

具体的なお話と資料が豊富で120分の講演があつという間に終わり、大変勉強になりました。



陰山メソッド(徹底反復から集中速習へ)

学力向上研修会で陰山先生からいくつかの提案を担当者に言われました。詳しくは、プレゼン資料^{*}を基に担当者から聞かれていると思います。

小学校1・2年生で徹底的に基礎・基本(姿勢や運筆などの基本も合わせ)を身につけさせる。

朝の学習で時間管理を子どもと教師が共に身につける。それが授業に生きてくる。問いから無駄な言葉を削る。子どもは先を読んで行動できる。集中して学習→集中速習へ。時間に余裕ができ教師の働き方改革にもなります。集中速習になる集団の目安は資料^{*}にあります。全職員で研修を!

朝の学習内容の再確認と陰山メソッドの型の追求をしましょう。(リズム・テンポ・タイミングで脳の活性化)

百マス計算で2分が目安(計画的にかつ継続して記録をとり共有する)

5年生から百マスから百割計算をさせましょう。

全国学力テストをさらに伸ばすには、できない問題を集中して取り組む。(経験・慣れが大切)